

台風23号による

野洲川河川公園護岸の損壊

山本 勇作

問 台風23号により野洲川河川公園（大畑地先）の低水護岸部が約100mにわたり損壊し5か所が上部より崩れる事態が発生した。河川高水敷を浸水し溢水して更に堤防を越え野洲、大畑地区が

洪水で浸水したらと思うと大きな危惧を感じている。

まさに安心して安全を信じ洪水の心配はないと住民は思っておりましたのに護岸が損壊した本件に対する対策を伺う。

総合的な防災対策に

取り組む 都市建設部長

答 近年は各地において地球温暖化の影響等から異常気象により集中豪雨で、多くの被害が発生している。

ひとたび河川の破堤で水害や土砂災害が発生すれば壊滅的な被害を被ることになる。

台風23号による河川公園における低水護岸の損壊については、住民の生命、財産を守り、安全で安心できる治水事業の促

進につい

て決意を

新たにし、

総合的な

防災対策

に取り組

み早急に

関係機関

と協議し

復旧に努

力する。



損壊した護岸

その他の質問

- 健康長寿のつどいのあり方について
- 公共施設の維持管理について



税負担の公平化

荒川 泰宏

問 景気低迷の影響を受けて市税は伸び悩むだけでなく、平成15年度末の市税及び国保税だけで滞納繰越額は、旧中主町で約6122万円。旧野洲町では、約3億6061万円であり、収納率も低下してきている。

組織の見直しを検討し、税務課から徴収部門を独立されるべきと考えますが、

税負担の公平化の考えや、今日までの取り組みを伺う。

毅然たる態度で臨み

努力する

市長

全国的に法定外普通税の新設や検討がされているが、新税よりも既存の税目における徴収率の向上が先決である。

答 納税は、憲法で定められた国民の三大義務の一つでありながら、年々増加する滞納者と未納税

対策に悩まされている。未納税に係る対応として、文書、電話による督促、催告あるいは臨戸訪問等を実施しつつ悪質な滞納者に対しては、給与、預金、不動産の差押を実施し回収に努めている。

今後とも税の賦課及び徴収に対し法律が徴収吏員に付与している権限を活用し、毅然たる態度で臨み、税負担の公平化に向けて努力する。



ほほえみやす21

健康プラン

森申行

問 国の提唱する「健康日本21」を受けて、旧野洲町では「ほほえみやす21健康プラン」を策定、

本年はこの推進委員会を立ち上げられた。

① 推進委員会の活動現況について。

② 合併後は新市版策定として見直すところがあるが。

③ この健康プランは、20才から64才までとして子ども老人など弱者に目を向けていない理由。

④ 県下に誇る希望ヶ丘を地元有しながら、行政はもっと利用すべきだと思うが、いかが。

ウォーキングには最高のコースだが、県営の駐車料にしては500円は高過ぎる。市民専用の駐車場があれば利用者は倍増する。



壮年期の健康、生活習慣病予防を目的

市民健康福祉部長

答 ①今年7月に第一回を開催。プランの周知啓発。

②中主地区に対しても同様の方針で「すこやか」で知らせる。12月開催の自治会役員会で説明する。

③壮年期の健康、生活習慣病予防を目的としているが、これ以外の年齢層の団体とも連携を取っていく。



野洲市の財政計画は

森田貞雄

問 16年8月19日、地方6団体会長会議は、内閣府から要請のあった、国庫補助負担金改革の具体案の取りまとめに対し、

最終合意、改革案提出に当たっての共同声明を発表している。

改革の全体像を16年秋に明らかにし、年内に決定するとしているが、野洲市に対し具体的な数字の提示があったのか。現状で来年度の予算は組めるのか。いつの時点で議会に明らかにされるのか。

また、一地方公共団体として、旧野洲町は国庫補助負担金改革の取りま

とめに対し、どのような案を出されたのか明らかにされたい。



三位一体改革に対応し 予算編成に取り組んでいる

市長

答 11月26日、政府から三位一体改革案の全体像について発表があった。

国庫補助負担金改革の工程表や税源移譲の目標値などについて具体的に示されている。

現在、地方6団体や都道府県などにおいて具体的な影響額を算定してい

る。現時点では、提示がないが新年度予算編成に取り組んでいる。旧野洲町は個別の意見は付加していないが、全国町村会を通じて地方への負担転嫁にならないよう、意見陳述を行った。

その他の質問

- 合併特例債による事業計画について
- 新市への引継ぎについて



琵琶湖と三上山